

令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業 運動部活動の地域移行に向けた実証事業 成果報告書（概要）

秋田県

● 地域における現状・課題

- ・当県の学校部活動は、少子化の影響により、部員数や部活動数の減少が進み、従来の枠組みでの活動が難しくなっている。
- ・当県の中学校教員数は年々減少しており、1人の教員が複数の部活動の顧問を担ったり、専門性が「ない」と答える教職員が顧問を担ったりするなどの状況が生じている。
- ・市町村間で人的・物的資源に差があることから、学校と地域との連携や学校の枠を超えた広域的な連携による体制づくりを進めていくことが必要である。
- ・指導者の偏在、費用負担や送迎等に係る保護者負担の在り方について、市町村間で進捗差が生じないような支援が必要である。

● 取組事項の概要

【関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備】

- ・総括コーディネーターの配置
- ・県推進計画及び県ガイドラインの策定
- ・指導者登録システムの設置

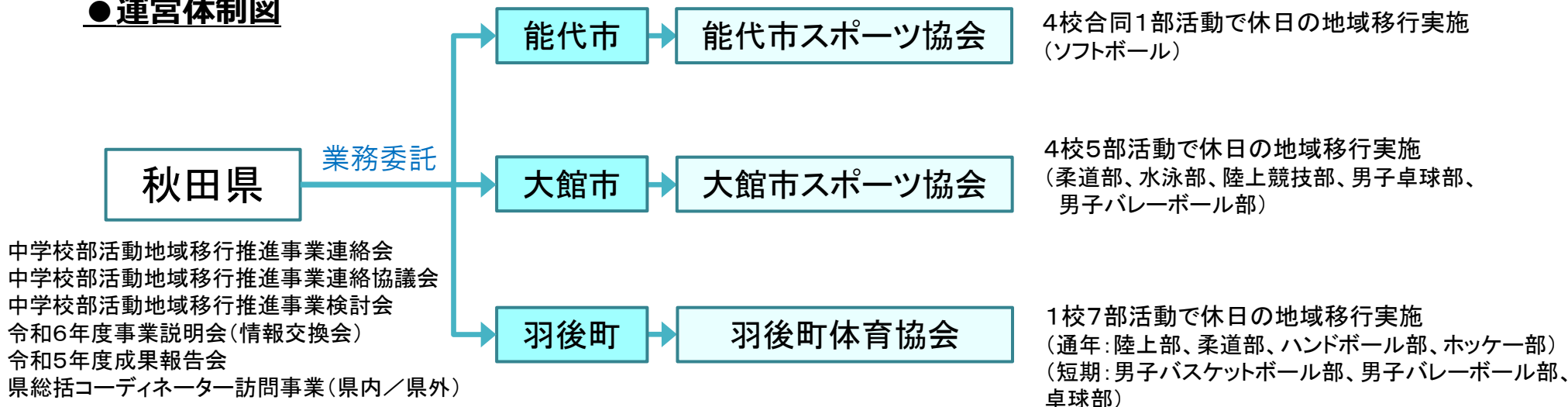
【関係団体・分野との連携強化】

- ・地域移行検討会の実施
- ・事業説明会及び成果報告会の実施

● 取組の成果、特に工夫した点等

- ・総括コーディネーターによる市町村訪問では、実情に応じた地域移行の進め方についての指導・助言を行うとともに、専門的な知見を踏まえた情報提供をすることで関係者の理解を深めることができた。また、県外先進地域訪問を2回実施し、担当者との情報交換や地域クラブ活動の視察によって得られた情報を事業説明会等で各市町村と共有できた。
- ・8月に推進計画、3月にガイドラインを策定し、県の方針を示すとともに各市町村の取組に役立てられるようにした。また、令和6年4月からの本格運用に向けて指導者登録システムを設置し、各市町村の活動を広域的に支援する準備をしている。
- ・成果報告会における市町村担当者による協議では、参加者が取り組みたい協議題について事前に希望調査を行い、それに応じたグループを編成して行ったため、活発な意見交換が行われた。

● 運営体制図



令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業 運動部活動の地域移行に向けた実証事業 成果報告書（概要）

秋田県羽後町

●地域における現状・課題

- ・様々な場面で周知を繰り返しているものの、学校の部活動地域移行の趣旨を学校関係者以外に浸透させることが難しい。
- ・保護者に対して、地域移行のメリット等について、理解を得る必要がある。
- ・指導者が少なく、競技に偏りがある。指導者の確保・発掘が難しい。

●取組事項の概要

- ・運営団体・実施主体の運営体制の整備による、組織体制の構築。
- ・羽後町体育協会と指導者の派遣及び研修の実施などについて連携
- ・小学生や高校生、一般団体と一緒に練習を行う世代間交流の実施・検証。
- ・練習会場である町の施設について、利用料の減免措置を行い、参加費用負担を軽減。
- ・平日と休日の指導者間において、効率的効果的な連携方法を構築。
- ・短期間で実施する拠点部を設定し、段階的な地域移行を実施。
- ・学校施設・設備・備品の使用に関するルールを検討。

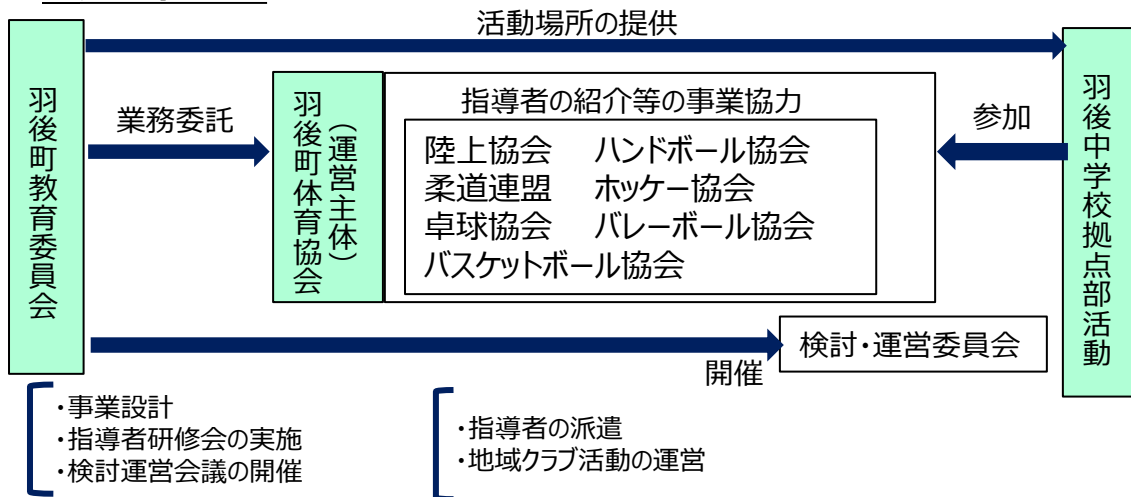
●取組の成果、特に工夫した点等

- ・部活動地域移行の趣旨について周知の幅を広げた。
- ・短期間の実践を含め、実施する競技を拡充した。
- ・平日の指導者と休日の指導者の連携を密にし、同じ方針で指導に当たった。

- ・現段階では実施していない競技団体の代表も委員とし、体育協会を中心とする検討・運営委員会を設置した。

- 地域移行に関わる人が増えたことにより、周知の幅が広がり、様々な立場の方から意見をいただくことができた。
- 実際に活動した生徒や保護者の満足度が高い。意欲や競技力の向上につながっている。
- 各競技団体の状況を共有することで、今年度未実施の競技団体も見通しをもつことができた。
- 指導者個人の対応ではなく、競技団体としての取組が見られた。（指導者の複数配置、世代間交流 等）

●運営体制図



●地域クラブ活動の概要（代表的な取組例）

- (1) 運営類型：地域スポーツ団体等運営型
- (2) 運営主体：羽後町体育協会
- (3) 種目：陸上、柔道、ハンドボール、ホッケー、卓球、（男子バレーボール 男子バスケットボール）
- (4) 指導者の主な属性：当該競技団体に所属する地域指導者
- (5) 1か月あたりの平均的な活動回数：3回程度
- (6) 主な活動場所：学校施設、町の施設（廃校となった学校施設含む）
- (7) 主な移動手段：徒歩、自転車、保護者の送迎
- (8) 1人あたりの参加会費等（年額）：参加費なし
（保険料の半額を負担）
- (9) 1人あたりの保険料：生徒800円／指導者1850円

令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業 運動部活動の地域移行に向けた実証事業 成果報告書（概要）

秋田県大館市

●地域における現状・課題

- ・年々減少傾向にある中学校生徒数に伴い、教職員定数は減少し、学校現場においては従来の枠組みでの部活動運営は難しくなっている。
- ・生徒にとっては、在籍する学校に希望する種目の部活動がなく、他の部活動に所属したり、団体競技においては近隣の学校と合同チームを結成するなどしながら、活動している生徒も少なくない。
- ・教職員の中には、自らが競技したり、指導したりといった経験のない種目を担当する場合もあり、指導に不安を抱えている教職員もいる。

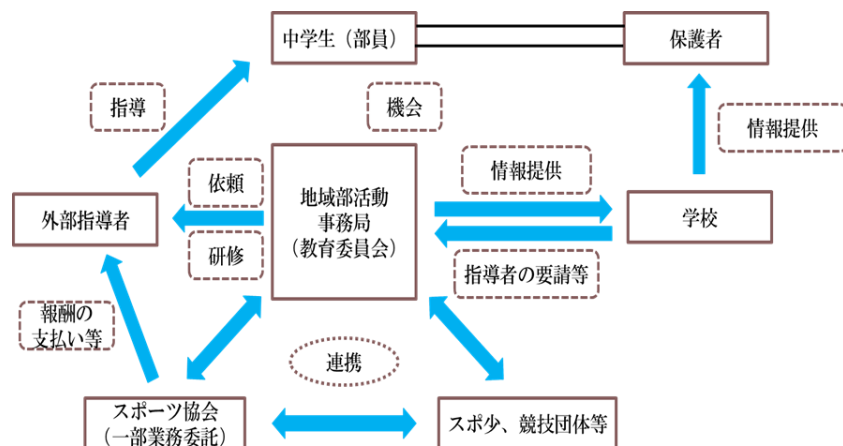
●取組事項の概要

- ・休日の地域部活動を実施するため、市内8中学校のうち希望のあった学校へ指導者を配置。
- ・一部業務を、市スポーツ協会へ委託することによる、各競技団体等との連絡調整や情報収集の効率化。
- ・関係者による情報交換及び協議と、それに基づいた推進計画の策定。

●取組の成果、特に工夫した点等

- ・休日の部活動を学校から切り離したことにより、教職員の負担軽減につながった。
- ・市スポーツ協会へ業務の一部を委託したことにより、各校及び関係団体からの情報収集がスムーズになった。さらにはより専門的な立場からの助言を受けながら、地域移行に向けて検討を進めることができた。
- ・コーディネーターを配置することで、学校現場の相談業務や各競技団体との情報共有が図られた。

●運営体制図



●地域クラブ活動の概要（代表的な取組例）

- (1) 運営類型：スポーツ少年団
- (2) 運営主体：大館市スポーツ少年団
- (3) 種目：柔道
- (4) 指導者の主な属性：スポーツ少年団指導者
- (5) 1か月あたりの平均的な活動回数：4回
- (6) 主な活動場所：第一中学校道場・大館桂桜高校道場
- (7) 主な移動手段：自転車
- (8) 1人あたりの参加会費等（年額）：5000円/年
- (9) 1人あたりの保険料：生徒800円／指導者1850円

令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業 運動部活動の地域移行に向けた実証事業 成果報告書（概要）

秋田県能代市

●地域における現状・課題

- ・持続可能な体制の構築、運営主体の支援、指導者の確保、移行後の施設利用の在り方 他
- ・中学校部活動の地域移行を進めるにあたり、学校、保護者、生徒、関係団体からの理解
- ・指導者の確保及び、質を維持するための体制づくり

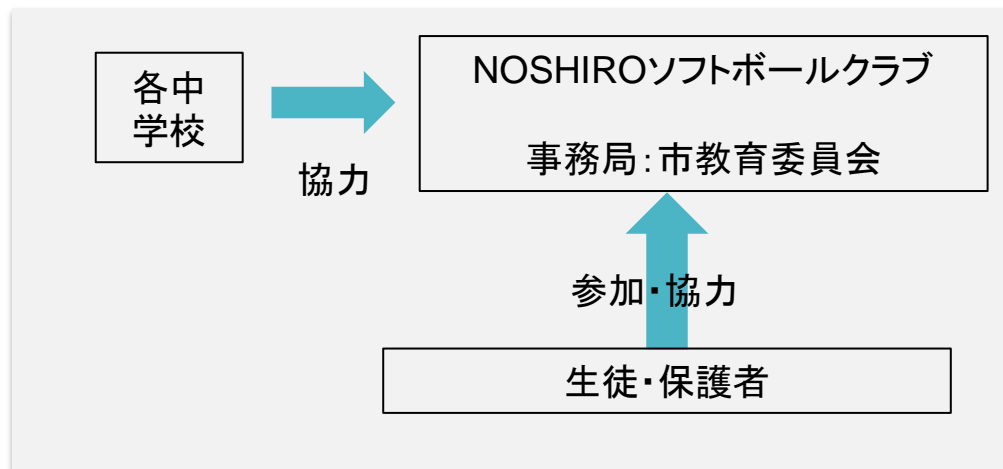
●取組事項の概要

- ・地域移行に必要な組織体制を構築を目指し、統括コーディネーターを招聘し、関係団体と協議を進めた。
- ・市のモデルケースとして、ソフトボール競技の地域移行を進めた。

●取組の成果、特に工夫した点等

- ・関係者と意識の共有を図るために、すべての関係者を集めたWSを実施した。
- ・先進地から統括コーディネーターを招聘し、地域移行を進めるにあたりアドバイスをいただいた。

●運営体制図



●地域クラブ活動の概要（代表的な取組例）

- (1) 運営類型：市町村運営型
- (2) 運営主体：能代市教育委員会
- (3) 種目：ソフトボール
- (4) 指導者の主な属性：一般指導者
- (5) 1か月あたりの平均的な活動回数：1回程度
- (6) 主な活動場所：能代市ソフトボール場
- (7) 主な移動手段：保護者による送迎
- (8) 1人あたりの参加会費等（年額）：無料
- (9) 1人あたりの保険料：各自加入